



平成20年2月期 第3四半期財務・業績の概況

平成20年2月15日

上場会社名 株式会社スーパーバリュー 上場取引所 ジャスダック  
 コード番号 3094 U R L [http://www. Supervalue. jp](http://www.Supervalue.jp)  
 代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 岸本 七朗  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 佐々木 眞一  
 TEL (048)650-5622  
 (百万円未満切捨て)

1. 平成20年2月期第3四半期の連結業績 (平成19年3月1日～平成19年11月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年2月期第3四半期	26,756	—	839	—	695	—	405	—
19年2月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—
19年2月期	34,832	7.7	891	85.1	727	52.2	362	32.5

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年2月期第3四半期	225	28	—	—
19年2月期第3四半期	—	—	—	—
19年2月期	201	42	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
20年2月期第3四半期	17,519	—	1,564	—	8.9	862	99	
19年2月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	
19年2月期	17,466	—	1,172	—	6.7	647	72	

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー		投資活動によるキャッシュ・フロー		財務活動によるキャッシュ・フロー		現金及び現金同等物期末残高	
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
20年2月期第3四半期	1,175	—	△329	—	△739	—	1,206	—
19年2月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—
19年2月期	678	—	△1,682	—	1,643	—	1,099	—

2. 配当の状況

基準日	1株当たり配当金	
	第3四半期末	
	円	銭
20年2月期第3四半期	—	—
19年2月期第3四半期	—	—

3. 平成20年2月期の連結業績予想 (平成19年3月1日～平成20年2月29日) 【参考】

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	35,767	2.7	1,108	24.3	882	21.2	517	42.7	285	57

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用： 有  
(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更： 有  
(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当資料に記載の業績見通しは、現在入手している情報による判断及び仮定に基づいた見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、当社グループの事業領域を取巻く経済情勢、市場動向の他、様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

「3. 平成20年2月期の連結業績予想」の1株当たり当期純利益の算出に使用した期中平均株式数は、平成20年2月に予定している公募増資300,000株を含み算出しております。

なお、業績予想に関しては3ページ「【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報」を御参照ください。

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期における我が国経済は、堅調な企業業績を背景とした継続的な設備投資の増加や雇用環境の改善が進み、景気は緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら原油をはじめとする原材料価格の高騰、サブプライム問題等による米国経済の下振れ等、景気の先行き懸念を払拭するにはいたりませんでした。

一方で小売業界におきましては、業界の再編の動きの活発化や年末から年明けにかけての、原油や原材料価格の高騰を理由とする各メーカーの値上げ発表が続いております。

このような環境の中で、当社グループは、お客様に安心してご利用いただけるよう「お客様第一主義の徹底」、「よい商品をより安く」、「顧客満足度の高いサービスの提供」をモットーに、より信頼される店舗作りを進めてまいりました。

また、食品スーパーとホームセンターを独自のノウハウで融合している「都市型スーパーセンター」としての特質を活かしつつ、厳しい競争に打ち勝ち、消費者ニーズに対応するための販促企画を充実し、徹底した顧客満足の向上に努めてまいります。

この結果、売上高267億56百万円、営業利益8億39百万円、経常利益6億95百万円、四半期純利益4億5百万円となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当3四半期における連結総資産は、175億19百万円となりました。資産の部においては、たな卸資産の増加、新規出店物件の一部手付金支払による増加がありましたが、減価償却費の計上により前期末に比べ52百万円の増加となりました。負債の部においては、仕入債務の増加がありましたが長期借入金の返済による減少があり前期末に比べ3億39百万円減少しました。一方、純資産の部においては、当四半期純利益の増加により、前期に比べて3億92百万円の増加となりました。

営業活動による資金は、11億75百万円の増加となりました。これは主に当四半期利益の増加と仕入債務の増加によるものであります。

投資活動による資金は3億29百万円の減少となりました。これは、主に新規出店物件に係る手付金の支払と匿名組合（㈲上尾企画）における「ValuePlaza上尾愛宕店」の設備の取得によるものであります。

財務活動による資金は、7億39百万円の減少となりました。これは主に長期借入金の約定返済によるものであります。

結果としましては、当第3四半期の現金及び現金同等物の残高については、前期に比較して1億6百万円増加し12億6百万円となりました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績につきましては、当第3四半期まで当グループの業績はほぼ計画どおり進捗しておりますので連結の通期業績予想は修正しておりません。

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）  
該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用  
法人税等及び引当金の計上基準に簡便な方法を採用しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

当第3四半期より法人税法の改正（所得税法の一部を改正する法律（平成19年3月30日 法律第6号）及び法人税法施行令の一部を改正する政令（平成19年3月30日 政令第83号））に伴い、平成19年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に規定する償却方法により減価償却を計上しております。

なお、この変更による営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益及び四半期純利益に与える影響は軽微であります。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円、%)

科 目	前年同四半期末 (平成19年2月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成20年2月期 第3四半期末)	増 減		(参 考) 前期末 (平成19年2月期末)
	金額	金額	金額	増減率	金額
(資産の部)					
I 流動資産					
1. 現金及び預金	—	645,873	—		640,926
2. 現金及び預金(責任財産限定対象)	—	560,415	—		458,387
3. 売掛金	—	195,705	—		139,555
4. たな卸資産	—	1,770,994	—		1,649,044
5. 繰延税金資産	—	36,261	—		78,407
6. その他	—	257,409	—		245,505
7. その他(責任財産限定対象)	—	1,533	—		154,564
流動資産合計	—	3,468,192	—	—	3,366,391
II 固定資産					
1. 有形固定資産					
(1) 建物及び構築物	—	1,956,089	—		2,095,939
(2) 建物及び構築物(責任財産限定対象)	—	3,258,126	—		3,274,611
(3) 運搬具及び器具備品	—	6,665	—		4,877
(4) 土地	—	3,871,916	—		3,871,916
(5) 土地(責任財産限定対象)	—	2,862,025	—		2,862,025
(6) 建設仮勘定	—	244,679	—		—
有形固定資産合計	—	12,199,503	—	—	12,109,370
2. 無形固定資産					
(1) その他	—	24,933	—		24,602
(2) その他(責任財産限定対象)	—	4,505	—		4,697
無形固定資産合計	—	29,438	—	—	29,299
3. 投資その他の資産					
(1) 投資有価証券	—	2,175	—		2,200
(2) 繰延税金資産	—	26,185	—		75,591
(3) 差入保証金	—	1,670,978	—		1,739,483
(4) その他	—	38,543	—		40,803
投資その他の資産合計	—	1,737,882	—	—	1,858,079
固定資産合計	—	13,966,824	—	—	13,996,749
III 繰延資産(責任財産限定対象)	—	84,079	—	—	103,598
資産合計	—	17,519,096	—	—	17,466,740

(単位：千円、%)

科 目	前年同四半期末 (平成19年2月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成20年2月期 第3四半期末)	増 減		(参 考) 前期末 (平成19年2月期末)
	金額	金額	金額	増減率	金額
(負債の部)					
I 流動負債					
1. 支払手形及び買掛金	—	3,063,607	—		2,602,430
2. 短期借入金	—	1,590,000	—		1,350,000
3. 一年以内返済予定の長期借入金	—	1,369,008	—		1,505,146
4. 一年以内返済予定の長期借入金(責任財産限定)	—	250,000	—		250,000
5. 未払法人税等	—	55,422	—		196,530
6. 役員賞与引当金	—	—	—		9,000
7. 賞与引当金	—	57,219	—		109,732
8. その他	—	759,783	—		605,530
9. その他(責任財産限定)	—	35,443	—		14,065
流動負債合計	—	7,180,483	—	—	6,642,433
II 固定負債					
1. 長期借入金	—	2,760,101	—		3,397,474
2. 長期借入金(責任財産限定)	—	5,637,500	—		5,825,000
3. 退職給付引当金	—	6,151	—		7,579
4. その他	—	370,394	—		421,991
固定負債合計	—	8,774,146	—	—	9,652,045
負債合計	—	15,954,630	—	—	16,294,479
(純資産の部)					
I 株主資本					
1. 資本金	—	90,000	—	—	90,000
2. 利益剰余金	—	1,463,312	—	—	1,075,803
株主資本合計	—	1,553,312	—	—	1,165,803
II 評価・換算差額等					
1. その他有価証券評価差額金	—	75	—	—	90
評価・換算差額等合計	—	75	—	—	90
III 新株予約権	—	11,078	—	—	6,367
純資産合計	—	1,564,466	—	—	1,172,260
負債純資産合計	—	17,519,096	—	—	17,466,740

## (2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：千円、%)

科 目	前年同四半期 (平成19年2月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年2月期 第3四半期)	増 減		(参 考) 前期 (平成19年2月期)
	金額	金額	金額	増減率	金額
I 売上高	—	26,756,989	—	—	34,832,790
II 売上原価	—	21,346,395	—	—	27,793,091
売上総利益	—	5,410,594	—	—	7,039,698
III 営業収入	—	279,561	—	—	286,719
営業総利益	—	5,690,155	—	—	7,326,417
IV 販売費及び一般管理費					
1. 広告宣伝費	—	233,527	—		303,260
2. 給与手当	—	908,852	—		1,158,967
3. 雑給	—	1,095,581	—		1,397,633
4. 役員賞与引当金繰入額	—	—	—		9,000
5. 賞与引当金繰入額	—	57,219	—		134,158
6. 退職給付費用	—	66,100	—		82,825
7. 地代家賃	—	600,272	—		911,492
8. リース料	—	240,146	—		405,510
9. 水道光熱費	—	283,068	—		378,688
10. 減価償却費	—	241,580	—		289,094
11. その他	—	1,124,346	—		1,364,396
販売費及び一般管理費合計	—	4,850,695	—		6,435,027
営業利益	—	839,459	—	—	891,389
V 営業外収益					
1. 受取利息	—	4,738	—		5,497
2. 受取手数料	—	42,441	—		57,690
3. その他	—	22,747	—		22,123
営業外収益合計	—	69,927	—	—	85,310
VI 営業外費用					
1. 支払利息	—	179,496	—		196,796
2. 開業費償却	—	19,493	—		25,991
3. その他	—	14,818	—		26,017
営業外費用合計	—	213,808	—	—	248,805
経常利益	—	695,578	—	—	727,894
VII 特別利益					
1. 店舗閉鎖補償金	—	—	—		163,938
2. テナント契約解約金	—	—	—		8,376
特別利益合計	—	—	—	—	172,314
VIII 特別損失					
1. 固定資産除却損	—	—	—		913
2. 店舗閉鎖損失	—	—	—		140,272
3. 減損損失	—	—	—		193,197
特別損失合計	—	—	—	—	334,383
税金等調整前 四半期(当期)純利益	—	695,578	—	—	565,825
法人税、住民税及び事業税	—	198,506	—	—	299,844
法人税等調整額	—	91,563	—	—	△96,575
四半期(当期)純利益	—	405,508	—	—	362,555

## (3) (要約) 四半期連結株主資本等変動計算書

当四半期(自 平成19年3月1日 至 平成19年11月30日)

	株主資本		
	資本金	利益剰余金	株主資本合計
平成19年2月28日残高(千円)	90,000	1,075,803	1,165,803
当四半期の変動額			
利益処分による剰余金の配当		△18,000	△18,000
四半期純利益		405,508	405,508
株主資本以外の項目の当四半期の変動額(純額)			
当四半期の変動額合計(千円)	—	387,508	387,508
平成19年11月30日残高(千円)	90,000	1,463,312	1,553,312

	評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額等 合計		
平成19年2月28日残高(千円)	90	90	6,367	1,172,260
当四半期の変動額				
利益処分による剰余金の配当				△18,000
四半期純利益				405,508
株主資本以外の項目の当四半期の変動額(純額)	△14	△14	4,711	4,697
当四半期の変動額合計(千円)	△14	△14	4,711	392,205
平成19年11月30日残高(千円)	75	75	11,078	1,564,466



前期(自 平成18年3月1日 至 平成19年2月28日)

	株主資本		
	資本金	利益剰余金	株主資本合計
平成18年2月28日残高(千円)	90,000	722,248	812,495
連結会計年度中の変動額			
利益処分による剰余金の配当		△9,000	△9,000
当期純利益		362,555	362,555
株主資本以外の項目の連結会計年度の変動額(純額)			
連結会計年度中の変動額合計(千円)	—	353,555	353,555
平成19年2月28日残高(千円)	90,000	1,075,803	1,165,803

	評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額等 合計		
平成18年2月28日残高(千円)	247	247	—	812,495
連結会計年度中の変動額				
利益処分による剰余金の配当				△9,000
当期純利益				362,555
株主資本以外の項目の連結会計年度の変動額(純額)	△157	△157	6,367	6,209
連結会計年度中の変動額合計(千円)	△157	△157	6,367	359,765
平成19年2月28日残高(千円)	90	90	6,367	1,172,260

## (4) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前年同四半期 (平成19年2月期第3四半期)	当四半期 (平成20年2月期第3四半期)	(参 考) 前期 (平成19年2月期)
区分	金額	金額	金額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	—	695,578	565,825
減価償却費	—	242,401	289,094
開業費償却	—	19,493	25,991
役員賞与引当金の増加額及び減少額(△)	—	△9,000	9,000
賞与引当金の増加額及び減少額(△)	—	△52,513	△3,568
退職給付引当金の増加額及び減少額(△)	—	△1,428	△782
固定資産除却損	—	—	913
減損損失	—	—	193,197
受取利息及び配当金	—	△4,765	△5,527
支払利息	—	179,496	196,796
売上債権の増加額(△)及び減少額	—	△56,149	△34,185
たな卸資産の増加額(△)及び減少額	—	△121,949	△160,026
仕入債務の増加額及び減少額(△)	—	461,177	△322,830
テナント預り金の増加額	—	—	5,277
未払消費税等の増加額及び減少額(△)	—	188,942	36,373
差入保証金の相殺による回収	—	70,308	93,744
預り保証金の増加額	—	—	219,686
預り保証金の減少額	—	—	△6,438
その他資産、負債の増減額	—	69,503	△10,418
小計	—	1,681,094	1,092,125
利息及び配当金の受取額	—	913	184
利息の支払額	—	△166,536	△210,534
法人税等の支払額	—	△339,684	△202,787
営業活動によるキャッシュ・フロー	—	1,175,787	678,987
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	—	△250,788	△457,334
有形固定資産の取得による支出(責任財産限定対象)	—	△80,683	△1,262,844
無形固定資産の取得による支出	—	△380	—
無形固定資産の取得による支出(責任財産限定対象)	—	—	△5,000
出資金の取得による支出	—	—	△10
差入保証金の差入による支出	—	△930	△36,000
差入保証金の返還による収入	—	2,980	114,760
開業費支出(責任財産限定対象)	—	—	△35,875
投資活動によるキャッシュ・フロー	—	△329,801	△1,682,304
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金による収入	—	3,450,000	2,050,000
短期借入金の返済による支出	—	△3,210,000	△1,500,000
長期借入金による収入	—	400,000	900,000
長期借入金による収入(責任財産限定)	—	—	1,650,000
長期借入金の返済による支出	—	△1,173,511	△1,322,350
長期借入金の返済による支出(責任財産限定)	—	△187,500	△125,000
配当金の支払額	—	△18,000	△9,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	—	△739,011	1,643,650
IV 現金及び現金同等物の増加額及び減少額(△)	—	106,974	640,333
V 現金及び現金同等物の期首残高	—	1,099,314	458,981
VI 現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	—	1,206,288	1,099,314

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前年同四半期(平成19年2月期第3四半期)

当社グループの事業は、流通販売事業並びにこれらの付帯業務の単一事業であります。従いまして、開示対象となるセグメントはありませんので、記載を省略しております。

当四半期(平成20年2月期第3四半期)

当社グループの事業は、流通販売事業並びにこれらの付帯業務の単一事業であります。従いまして、開示対象となるセグメントはありませんので、記載を省略しております。

(参考)前期(平成19年2月期)

当社グループの事業は、流通販売事業並びにこれらの付帯業務の単一事業であります。従いまして、開示対象となるセグメントはありませんので、記載を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

前年同四半期(平成19年2月期第3四半期)

存外子会社及び重要な在外支店がないため、記載を省略しております。

当四半期(平成20年2月期第3四半期)

存外子会社及び重要な在外支店がないため、記載を省略しております。

(参考)前期(平成19年2月期)

存外子会社及び重要な在外支店がないため、記載を省略しております。

6. その他の情報

【生産、受注及び販売の状況】

(1) 仕入実績

当四半期における仕入実績を事業部門及び品目別に示すと、次のとおりであります。

事業部門	品目別	当四半期 (自 平成19年3月1日 至 平成19年11月30日)	(参考) 前期 (自 平成18年3月1日 至 平成19年2月28日)
		仕入高 (千円)	仕入高 (千円)
SM部門	生鮮食品	6,720,610	8,653,434
	グロサリー	7,765,943	9,907,001
	SM部門計	14,486,553	18,560,436
HC部門	第一グループ	1,272,329	1,612,046
	第二グループ	1,750,270	2,257,355
	第三グループ	3,829,442	5,352,221
	その他	135,156	192,265
	HC部門計	6,987,199	9,413,889
合計		21,473,753	27,974,325

(注) 1 金額は、仕入価格によっております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3 品目別の各構成内容は次のとおりであります。

- (1)生鮮食品 (青果、精肉、鮮魚、惣菜)
- (2)グロサリー (加工食品、米、酒、日配品)
- (3)第一グループ (日曜大工用品、園芸用品、エクステリア用品)
- (4)第二グループ (カー用品、レジャー用品、ペット用品)
- (5)第三グループ (家電製品、対面(注4)、インテリア用品、家庭・日用雑貨、文具・玩具、ドラッグ)
- (6)その他 (売上仕入(注5))

4 対面販売形態の部門を指しております(例:時計・カメラ等)。

5 売上が計上されるのと同時に仕入が計上される取引形態のことを指しております(例:ゲーム・切花等)。

(2) 販売実績

①当四半期における販売実績を事業部門及び品目別に示すと、次のとおりであります。

事業部門	品目別	当四半期 (自 平成19年 3月 1日 至 平成19年11月30日)	(参考) 前期 (自 平成18年 3月 1日 至 平成19年 2月28日)
		売上高 (千円)	売上高 (千円)
SM部門	生鮮食品	8,719,859	11,226,697
	グローサリー	9,200,333	11,800,835
	SM部門計	17,920,192	23,027,532
HC部門	第一グループ	1,674,266	2,096,673
	第二グループ	2,221,343	2,869,555
	第三グループ	4,741,649	6,555,646
	その他	199,537	283,382
	HC部門計	8,836,796	11,805,257
合計		26,756,989	34,832,790

(注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 品目別の各構成内容は次のとおりであります。

- (1)生鮮食品 (青果、精肉、鮮魚、惣菜)
- (2)グローサリー (加工食品、米、酒、日配品)
- (3)第一グループ (日曜大工用品、園芸用品、エクステリア用品)
- (4)第二グループ (カー用品、レジャー用品、ペット用品)
- (5)第三グループ (家電製品、対面(注3)、インテリア用品、家庭・日用雑貨、文具・玩具、ドラッグ)
- (6)その他 (売上仕入(注4))

3 対面販売形態の部門を指しております(例:時計・カメラ等)。

4 売上が計上されるのと同時に仕入が計上される取引形態のことを指しております(例:ゲーム・切花等)。

②当四半期における販売実績を地域別に示すと、次のとおりであります。

地域別	当四半期 (自 平成19年 3月 1日 至 平成19年11月30日)	(参考) 前期 (自 平成18年 3月 1日 至 平成19年 2月28日)	店舗数 (店)
	売上高 (千円)	売上高 (千円)	
埼玉県	15,456,518	19,398,091	5
東京都	9,074,156	12,152,122	2
千葉県	2,226,315	3,282,576	1
合計	26,756,989	34,832,790	8

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。